

病院長あいさつ



静岡県立静岡がんセンター 病院長
小野 裕之

春の訪れとともに、ときに夏日となる陽気もあり、今年も猛暑なのかもしれないと、北海道生まれの私はやや不安ではあります。皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。医療施設はともかく、世間ではコロナは終わったかのごとく、マスク姿の人々も大きく減ったような印象があります。のど元過ぎれば……の格言もありますが、次なる新興感染症は必ずくるとも言われており、気を引き締めなければならないと自戒しています。

さて、コロナ禍で減少した検診数や病院受診者は、増加傾向にはありますが、未だコロナ前に戻っていないのが現状です。私たち静岡がんセンターは、がん診療を行っていく中で、地域の医療機関、医療介護施設や医師会との連携がますます重要であると考えております。

地域医療機関との連携強化に向けて、今後も以下の取り組みを進めてまいります。

1. **情報共有の促進**：がん患者さんの診療において、円滑な情報共有が重要です。本年4月より、あらたに沼津市出身の平嶋婦人科部長を医療連携室長とし、松見看護師長を副室長とする体制に強化いたしました。さらに寺島副院長が医療連携室担当副院長として全体を統括いたします。これまで以上に連携を進めていきたいと思っておりますので、情報共有やご質問などございましたら、お気軽に連携室までご連絡くださいますようお願いいたします。
2. **交流会**：昨年度はコロナ禍で中止していた連携交流会を久しぶりに対面で行うことができました。残念ながらコロナの流行がおさまっておらず、お飲み物の提供のみとなりましたが、やはり顔を合わせてお話しさせていただくことの重要性を再認識しております。今年度は立食形式でよりざっくばらんに皆さまと交流をもてるようにさらに工夫する予定です。是非ご参加いただければ幸いです。
3. **継続的な研修の提供**：現在一部の診療科では医師会や地域医療機関向けに、がん診療の最新情報や技術を提供する研修会などを行っています。研修会などにがんセンターの職員の参加を希望してくださる施設、医療機関、医師会の皆さまがいらっしゃいましたら是非ご一報ください。
4. **地域住民向け啓発活動**：がんに関する正しい知識を地域住民に普及させるための市民公開講座を今年も開催いたします。早期発見・早期治療の重要性を広く啓発したく存じます。



もくじ CONTENTS

病院長挨拶	P1
特集：アピアランスケア	P2～3
新任者の紹介	P4
部署紹介(新規治療開発科)	P5
しずがん院内アート探訪	P5
地域医療連携室からのお知らせ	P6



静岡がんセンターの アピアランスケア

Part
1

静岡がんセンターでは、開院当初より、がん患者に対するアピアランスケアに取り組んでまいりました。令和5年3月に公表された、「第4期がん対策推進基本計画」では、「がんとの共生」という分野別施策の中でアピアランスケアの均てん化と推進（相談支援・情報提供体制の構築）について明文化されました。厚生労働省よりその一環として「令和5年アピアランス支援モデル事業」の公募があり、当院が採択されました。「やまびこ」では今回と次回の2回にわたり、アピアランスケアを特集し、皆様にその内容と当院での取り組みについてご案内をいたします。

アピアランスケアが患者さんにもたらすもの

患者家族支援センター長兼副看護部長 中島 和子（がん化学療法看護認定看護師）

アピアランスケアとは

近年、がん治療の進歩によって、生存期間が延長し、外見の変化の影響を受けながら社会生活を送っている患者さんが増えています。がんそのものやがん治療によって起こる様々な外見変化に対して、医療者が行うケアのことを『アピアランスケア』といいます。

主な外見変化の症状

手術	乳房切除、人工肛門造設、切断、傷跡など
放射線療法	急性放射線皮膚炎、脱毛、色素異常、血管拡張、瘢痕、皮膚萎縮
薬物療法	▶脱毛関連 ・部位：頭髮、眉毛、睫毛、鼻毛、体毛
	▶皮膚の変化：乾燥、色素異常、白斑、ざ瘡様皮疹、潰瘍、剥離、手足症候群、爪囲炎
	▶爪の変化：非薄化、変形、剥離、脱落、巻き爪、伸長遅延、色素沈着、変色
	▶その他：浮腫



外見の変化が生じると、「がんであることや、抗がん治療を受けていることを周囲に知られてしまうのではないか」、「何か聞かれたら、なんて答えればよいのだろうか」などといった心配から、外出をためらったり、人と会うことを避けようとする患者さんがでできます。アピアランスケアは安心して日常生活を送ることができるように、様々な外見変化に対して患者さんにあった方法を一緒に考え整えていくことから始まります。そして、表面的な問題解決をはかるだけでなく、患者さんの疾患や治療に対する不安も合わせて、心理的社会的な悩みや困りごとに対して支援することを目的としています。

アピアランスケア相談窓口の開設

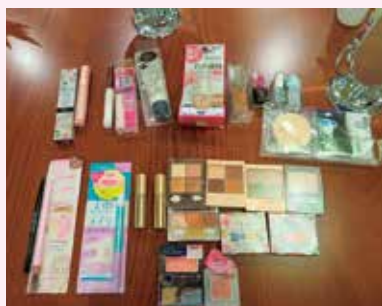
静岡がんセンターでは、2023年12月、患者家族支援センターにアピアランスケア相談窓口を開設しました。「脱毛が始まったけど、カツラをつけて会社に行ったら職場の人になんて言われるかなあ」、「頭頸部の術後で顔の変形をどのようにカバーしたらよいのかわからない」など、外見変化に関する困りごとに特化した相談窓口になります。

静岡がんセンターでは、これまではアピアランスケアについて、病棟や外来、化学療法・支持療法センター、放射線・陽子線治療センターで行ってきました。これまで通り治療を受けている部署でも継続して行います。

が、もう一つ、新しい相談場所として、アピアランスケアに関連した備品を備えた相談窓口を増やしました。がん看護専門看護師や認定看護師、皮膚科医師、医療ソーシャルワーカーなど専門職種が連携して、がん患者さんが外見変化に対する悩みを抱きながらも“自分らしく社会生活を送る”ことを支援していきます。

アピアランスケアケアが患者にもたらすもの

2024年3月に静岡がんセンターでは、「治療中でも元気になるメイクのコツ」というテーマについて、乳がんサバイバーであり、美容ジャーナリストの山崎多賀子先生をお招きして、患者勉強会を実施しました。山崎先生ご自身の外見変化が起きたときの経験や気持ちの変化や、どのように対処したり、ご自身を納得させていったかなどの講演は、患者さんに笑顔と勇気をもたらしていました。眉毛やまつげの脱毛、顔色の変化に対するHOW TOの説明後の実演では、みなさんが鏡と向き合い真剣にアイラインを引いたり、眉毛を書いたり、チークをぬって、みんなで表情が明るくなったことを褒めあい、「気持ちが上がりました」と素敵な笑顔を見せてくださいました。最初は怖い顔で勉強会に参加されていた男性患者さんが、眉毛の書き方を教わり、「自信が持てました」と表情が明るくなった様子をみたときは、私まで嬉しくなりました。アピアランスケアは、「気持ちが上がる」、「自信を持つ」ことにつながり、自己を受容していくプロセスに欠かせない支援であること実感しました。



講師：山崎多賀子さんのご紹介

美容ジャーナリスト
NPO 法人 CNJ 認定乳がん体験コーディネーター
NPO 法人 キャンサーリボンズ理事

自らの乳がん体験から、「心と外見と社会の関係」を見直し、各地でアピアランスケアについて講演や病院などでのメイクセミナー、がんに関する取材などを手掛けている。

院外の患者さんや職員の皆様についても、外見の変化のことでお困りのことがありましたら、静岡がんセンターのよろず相談（がん相談支援センター）にご相談ください。よろず相談と患者家族支援センターで連携して、対応させていただきます。ご一緒に、アピアランスケアによって、人と社会をつなぐケアを推進していきましょう。

次回の **Part 2** は、「静岡がんセンターでのアピアランスケアの実際」として、当院で行っているアピアランスケアの具体的な内容をご紹介します。

静岡がんセンター新任者紹介

今年度、新たに副院長と地域医療連携室長に就任いたしました2名の医師をご紹介します。



たかはし としあき
■ 高橋 利明 副院長

平素は当院に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2024年4月より呼吸器内科部長に加え副院長職を拝命致しました高橋利明と申します。

2002年9月の静岡がんセンター開院以来、呼吸器内科において胸部悪性腫瘍に対する内科的治療を担当し、ひとりひとりの患者さんに対して最善の医療を提供することともに、科学に裏付けされた治療選択肢を増やすために数多くの治験や臨床試験を実施してきました。今後は、新設された新規薬剤の早期開発を担当する新規治療開発科や、がんゲノム医療中核拠点病院である当センターにおいて重要な機能を担うゲノム医療推進部と連携のうえ、薬物治療の開発をさらに加速していきたいと考えております。

地域の医療関係の皆様信頼していただけるよう精進してまいります。なお一層の静岡がんセンターへの指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

静岡がんセンターでは、地域連携のさらなる推進を目的とし、本年度より地域医療連携室長として医師が配属されました。



ひらしま やすゆき
■ 平嶋 泰之 室長（婦人科 部長）

本年4月より地域医療連携室長（婦人科部長併任）に就任しました平嶋泰之と申します。地域連携業務をさらに充実させようという病院の方針のもと、努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

地域医療連携室の主な業務としては、1. 患者さんの予約、受診相談等を担う「前方連携業務」、2. 当院治療後の患者さんの医療機関への受診手続き、医科歯科連携、地域連携クリティカルパス運用等を担う「後方連携業務」、3. 医療連携カルテ閲覧システム、広報誌による広報活動、地域連携交流会の運営、紹介返書作成確認等を担う「地域医療推進業務」があります。

これらの業務を通じて皆様のご助力のもと、がん患者さんが円滑に質の高いがん治療を受け、社会復帰することを援助する。また、不幸にして完治できない場合には、様々な条件を検討して最適な症状緩和を提案していくことが私たちの責務と考えております。

近年は、コロナ禍のために皆様にお目にかかる機会が減っていました。今後は“顔の見える”風通しの良い関係ができること目指して、ご挨拶にも伺いたいと思います。医療連携に関して問題点、お気づきの点がございましたら忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。



2024年度 地域医療連携室 メンバー構成

室長（医師）	1名	事務	1名
副室長（看護師）	1名	会計年度任用職員	8名
非常勤事務（看護師）	1名	委託事務	4名

部署紹介 コーナー

新規治療開発科

部長 村上 晴泰

本年度より新しい診療科が誕生しましたのでご紹介します。

新規治療開発科は抗悪性腫瘍薬（抗がん薬）の早期臨床開発を実施する診療科として、2024年4月に新設されました。新規抗がん薬の開発において安全性を評価して、適切な投与量および投与方法を決定する早期臨床開発はとても重要です。近年、がんゲノムプロファイリング検査などの臨床導入により、特定の遺伝子異常を標的とした新薬の開発が盛んになっており、早期臨床開発の段階から有効性が確認され、承認に至るケースも増えてきています。このような背景から早期臨床開発は専門的知識と経験がある世界中の施設が切磋琢磨しながら、グローバル研究として行われる機会が多くなっています。しかしながら、国内でそのような研究に参加できる医療機関は限られており、ドラッグ・ラグ（海外で承認されている薬が日本国内で承認を得るまでに長い年月を要すること）が問題になっています。

当センターでは各診療科医師、看護師、薬剤師、臨床試験コーディネーター等の多職種が協力して早期臨床開発に携わってきました。この度、新規治療開発科が新設されたことにより、窓口の一本化、専用病棟での治療管理等が可能になり、これまで以上に安全かつ迅速に臓器横断的な早期臨床開発を行うことが可能に

なりました。前述のグローバル研究に積極的に参加してドラッグ・ラグを解消するとともに、がんゲノム医療支援室と緊密に連携して、がんゲノムプロファイリング検査の出口戦略となる臨床研究を積極的に推進するための窓口になりますので、お気軽にご相談ください。



しずがん 院内アート探訪

このコーナーでは静岡がんセンター本棟内のアート作品をご案内してまいります。今回は病院1階エスカレーター付近にあるブロンズ像と絵画をご紹介します。

2016年に静岡県知事がモンゴル・セレンゲ県を訪問した際に、友好交流の証しとして、同県より雄の馬が寄贈され、「プリンセス・セレンゲ・フジ」と名づけられました。輸送が難しいため、現在もモンゴルの同県にて飼育されています。

昨年、同県のナツァガドルジ・ララガドルジ知事が来日された際にこの馬のブロンズ像を作成することとなり、モンゴルがん予防団体「HOPE がんのないモンゴル」と交流を続ける静岡がんセンターに、今年2月設置されました。



モンゴル・セレンゲ県より寄贈された
牡馬「プリンセス・セレンゲ・フジ」のブロンズ像

地域医療連携室よりお知らせ

【研修情報】

1. 2024年度臨床腫瘍学コース

毎月、臨床腫瘍学コースを開催し地域の医療従事者の方々にも公開しています。

開催時間：18：00～19：30

会場：静岡がんセンター 管理棟4階 研修室1

◇詳細は静岡がんセンター総務課企画人材班 TEL：055-989-5222(代)までお問合せください。

日 時	テーマ	講師(敬称略)
6月28日(金)	がん遺伝子パネル検査の基礎知識 (仮)	鈿持 広知 ゲノム医療推進部長 呼吸器内科 医長
7月19日(金)	がん免疫薬物療法の基礎知識 (仮)	村上 晴泰 化学療法センター長 新規治療開発科 部長
7月26日(金)	最新の内視鏡治療(下部編)(仮)	堀田 欣一 内視鏡科 部長代理

2. アピアランスケア UP to Date ～アピアランスケアを見直してみよう～

開催日時：2024年7月20日(土) 13：00～16：30(受付開始12：30)

開催場所：静岡市駿河区東静岡2-3-1 グランシップ10階 会議室1001

対象者：静岡県内に勤務する看護職員等200名(先着順)、参加費無料

◇お問い合わせ◇ 静岡県立静岡がんセンター疾病管理センター(担当：佐々木・鈴木)

TEL 055-989-5222(代) 内線2118 Email gansogo@scchr.jp

3. 専門病理医養成研修会

開催日時：第1回 2024年10月5日(土)

第2回 2024年11月30日(土)

第3回 2025年2月1日(土)

開催場所：静岡市葵区紺屋町2-2 クーポール会館

対象者：医師、細胞検査士等 定員80名、参加費無料

◇詳細・お問い合わせ◇ 静岡県立静岡がんセンター HP (<https://www.scchr.jp>) から申し込み

編集 後記

2024年度初めてのやまびこをお届けします。

今回のやまびこでは、新たな静岡がんセンターの取り組みについてご紹介しました。コロナ対応を最優先にしなければならなかった数年を経て、本来のがん治療に邁進できる本年度は、

これまで以上に地域医療を担う皆様とともに新たな取り組みに励んでまいります。そして、「がんを上手に治す」「患者さんと家族を徹底的に支援する」「成長と進化を継続する」この理念の実現を目指し続けます。



発行 静岡県立静岡がんセンター 患者家族支援センター 地域医療連携室

〒411-8777 駿東郡長泉町下長窪1007 TEL 055-989-5222(代)

発行責任者 地域医療連携室長 松見 しのぶ